

平成 31 年 3 月 8 日 (金)

有機エシ材研 常任理事会

日時：3 月 8 日 (金) 15 時 00 分～

場所：信州大学繊維学部 谷口研究室

出席常任理事： 谷口、鈴木、藤浪、小川、東口、中村、古川

議題：

1. 事務局の移転について
2. H30 年度決算
3. 2019 年度予算
4. 2019 年度年間計画
5. WS19 開催案
6. その他

第 36 回 総 会 資 料

1. 会員状況の報告

正会員 : 34 社 特別会員 : 138 名 (2019年4月1日見込)

2. 事業報告

2.1 研究会, Workshop 開催状況

228 回	229 回	WS18	230 回	231 回	232 回	233 回
20	20	34	31	27	24	16

2.2 JOEM アカデミー2018開催状況 ()内は参加学生数

1 回	2 回	3 回	4 回
10(5)	7(0)	5(4)	4(10)

3. 2018 年度決算報告 (2 頁参照)

4. 2019 年度事業計画

4.1 研究会運営に当たっての方針

- A. 第一線で活躍中の若い研究者を軸とした研究会運営を目指す。
- B. 既存の組織にとらわれなく、会員が各自の立場で利用、活用できる研究会を目指す。
- C. 懇親会などにより、個人レベルでの交流が可能な場を作る。
- D. 事務局の移転と創立 35 周年記念イベントを行う。

4.2 研究会, Workshop 開催計画(緊急な課題などにより追加、変更される場合があります)

	開催日	テ ー マ	開催場所
234 回	4 月 17 日	次世代コンピューティング	NS 会議室
235 回	6 月 28 日	環境とプラスチック	NS 会議室
WS19	7 月 4、5 日	(材料系ベンチャー) (JOEM 35 周年)	国際高等研
236 回	10 月 日	有機エレクトロニクスのランドスケープ	未定
237 回	12 月 5 日	(有機)材料のインフォマティクス	森戸記念館
238 回	1 月 日	(名古屋大 西谷先生)	未定

4.3 JOEM アカデミー2019開催計画(緊急な課題などにより追加、変更される場合があります)

	開催日	テ ー マ	開催場所	講師	担当委員
1 回	7 月 日	有機トランジスタ・材料の物理 (仮) ウルトラフレキシブル有機エレクトロニクスを用いたセンサ 応用 (仮)	東京大学	長谷川先生 横田先生	水野
2 回	9 月 日	印刷プロセスを使った有機集積回路の高性能化技術 (仮) 塗布印刷プロセスによる高性能発光デバイス (仮)	山形大学	熊木先生 千葉先生	渡辺
3 回	10 月 日	有機受発光デバイスの過渡解析 (仮) 有機発光材料の分子設計と有機 EL デバイスの精密解析 (仮)	京都大学	梶井先生 梶先生	東口
4 回	11 月 日	有機系およびペロブスカイト太陽電池の現状と将来展望 (仮) 有機発光デバイスの基礎光物理過程から最前線デバイスまで (仮)	九州大学	早瀬先生 安達先生	古川

5. 2019 年度役員 (4 頁参照)

貸借対照表

有機エレクトロニクス材料研究会

平成31年 2月28日 現在

(資 産 の 部)

【流動資産】			
現金		108,978	
預金		7,565,863	
	流動資産合計		7,674,841
	資産合計		7,674,841

(負 債 の 部)

【流動負債】			
短期借入金		1,338,365	
未払金		50,328	
	流動負債合計		1,388,693
	負債合計		1,388,693

(純 資 産 の 部)

【株主資本】			
資本金			10,000,000
(利益剰余金)			
その他利益剰余金		-3,713,852	
繰越利益剰余金		-3,713,852	
	利益剰余金合計		-3,713,852
	株主資本合計		6,286,148
	純資産合計		6,286,148
	負債・純資産合計		7,674,841

損益計算書

有機エレクトロニクス材料研究会

自 平成30年 3月 1日

至 平成31年 2月28日

【売上高】

正 会 員	1,400,000	
夏 季 参 加 費	212,610	
参 加 費	224,600	
特 別 会 員 費	378,675	2,215,885
売上総利益金額		2,215,885

【販売費及び一般管理費】

雑 給	600,000	
研 究 会 費	542,966	
旅 費 交 通 費	295,246	
通 信 費	219,150	
印 刷 費	639,036	
消 耗 品 費	25,257	
租 税 公 課	11	
発 送 費	24,244	
指 導 料	26,500	
支 払 手 数 料	14,580	
夏 季 講 師 謝 礼	100,000	
事 務 局 費	163,350	
会 議 費	262,128	
寄 付 金	200,000	
講 師 等 謝 礼	580,000	3,692,468
営業損失金額		-1,476,583

【営業外収益】

受 取 利 息	79	
雑 収 入	16,273	16,352
経常損失金額		-1,460,231
税引前当期純損失金額		-1,460,231
法人税、住民税及び事業税		70,000
当期純損失金額		-1,530,231

以上の通り会計報告を致します。

2019年 月 日 理事長 印

当会計報告は妥当と認めます。

2019年 月 日 監事 印

(顧問 税理士法人 オフィス・マスターズ)

一般社団法人 有機エレクトロニクス材料研究会

【理事会】

(2019年度)

理事名	所属	E-mail
谷口 彬雄 (名誉会長)	信州大学 名誉教授	tany@shinshu-u.ac.jp
安達 千波矢 (会長)	九州大学 未来化学創造センター	adachi@cstf.kyushu-u.ac.jp
鈴木 博之 (理事長)	(株)国際電気通信基礎技術研究所	Hiroyuki.Suzuki@atr.jp
藤浪 啓 (副理事長)	(株)野村総合研究所	k-fujinami@nri.co.jp
小川 周一郎 (常任理事)	旭化成(株)	ogawa.sj@om.asahi-kasei.co.jp
東口 達 (常任理事)	NEC(株)	s-toguchi@cw.jp.nec.com
中村 隆一 (常任理事)	凸版印刷(株)	ryuichi.nakamura@toppan.co.jp
古川 一暁 (常任理事・広報)	明星大学 理工学部	kazuaki.furukawa@meisei-u.ac.jp
青木 健一	東京理科大学 理学部第二部	k-aoki@rs.tus.ac.jp
安藤 正彦	(株)日立製作所	masahiko.ando.ph@hitachi.com
石田 謙司	神戸大学大学院 工学研究科	kishida@crystal.kobe-u.ac.jp
市村 眞理	ソニー(株) 先端テクノロジー研究部門	Mari.Ichimura@sony.com
江尻 芳則	日立化成(株) コア技術革新センタ	y-ejiri@hitachi-chem.co.jp
小川 毅	セントラル硝子(株)	tsuyoshi.ogawa@cgco.co.jp
藤枝 俊宣	東京工業大学生命理工学院	t_fujie@bio.titech.ac.jp
藤田 悦昌	(株)サムスン日本研究所	y.fujita@samsung.com
水野 潤	早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構	mizuno@waseda.jp
村瀬 友英	三菱ケミカル(株) 横浜研究所	murase.tomohide.mv@m-chemical.co.jp
渡邊 哲也	富士フイルム(株) R&D 統括本部	tetsuya.watanabe@fujifilm.com
渡辺 敏行 (広報)	東京農工大学大学院 工学研究院	toshi@cc.tuat.ac.jp

【監事】

西川 智久	(株)ブリヂストン	tomohisa.nishikawa@bridgestone.com
-------	-----------	------------------------------------

【事務局】

〒619-0288 京都府相楽郡精華町光台 2-2-2 株式会社 ATR-Research Partners

TEL: 0774-95-2700 / FAX: 0774-95-1108

URL: <http://www.organic-electronics.or.jp>

E-Mail: info-joem@organic-electronics.or.jp

JOEM 事務局費用について

2019.1.22 鈴木

(1) 年間費用とその内訳

1. 年間費用：106 万円＋ネットバンキング費用
2. 内訳：人件費 88 万円＋場所代 18 万円＋ネットバンキング費用

(2) 算出根拠

1. 人件費：88 万円／年 ^{上限}
 - ・単価 1,550 円／H（ATR-RP 社の派遣元支払い最安額）
×年間労働時間 720H／年（労働日数 240 日／年×午前勤務 3H／日）
～110 万円／年
 - ・ただし、本件での実際の稼働時間が不明なため、初年度は×0.8 とし、88 万円／年とする。

【参考：現状】

- ・換算現状単金：～840 円／H（注：長野県の最賃 821 円）
労働日数 240 日／年 午前勤務 3H／日 年間労働時間 720H／年
年間賃金 60 万円 単金 833.3 円／H
2. 場所代：18 万円／年
 - ・ATR 建屋内：3 万円／月
13 m²×2,400 円／月（ATR のテナント用単価）≒ 3 万円／月
 - ・ただし、基本的には資料保管場所の料金であるため、×0.5 とし、1.5 万円
×12 月＝18 万円／年

以上

JOEM Workshop'19

(1) 概要

- ・実施形態：けいはんなリサーチコンプレックスとの共催
- ・会期：2019年7月4日（木） 13：00～17：00
5日（金） 9：00～12：00
- ・会場：国際高等研究所 (<https://www.iias.or.jp/>)
〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地
会場、宿泊施設仮予約済（次ページ参照）
- ・テーマ：SDGs 達成を加速する材料・デバイスイノベーション
- ・開催趣旨：2025年の開催が決定した大阪・関西万博のテーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」であり、未来社会の実験場（People's Living Lab）をコンセプトに「人」（human lives）にフォーカスし、人類共通の課題解決、具体的には国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals、次頁参照）が達成される社会と日本の国家戦略 Society5.0の実現をめざしている。この目的の達成には科学技術イノベーションによる新たなアイデアの創造と実現が不可欠です。近年、有機エレクトロニクス材料や関連するデバイス系のベンチャーの設立やこれらのベンチャー・SMEs と大企業との協働によるイノベーションに向けた取り組みとともに材料の超高性能化や材料開発時間・コスト削減への期待からマテリアルズインフォマティクス（MI）・AI 技術を取り入れた材料開発プロセスにおけるイノベーションへの取り組みが盛んになっている。本ワークショップでは、このような時代・地域ニーズを捉え、材料・デバイスにおける様々なイノベーションを通じた貢献が期待される SDGs で代表される人類共通の課題の解決に向け、最新動向を共有するとともに、将来展望について様々な視点から議論したい。

(2) テーマ案

- ①. 材料・デバイス系ベンチャー企業
- ②. ベンチャー企業・SMEs と大企業との協働例（S-イノベ）
3. 材料開発における MI・AI・計算科学からのアプローチ
- ④. グローバルイノベーションエコシステム形成（けいはんなリサーチコンプレックスの取り組み）
5. その他

以上

1.事務局の移転について

ネットバンキングは利用料無料のもので運用

事務局費用については、上限を106万円、下限を80万円（今年度の雑給60万円＋寄付金20万円）に設定し、実稼働に合わせて算出するとともに、範囲内で運営をできるよう業務内容を見直す（紙媒体廃止等）

3.2019年度予算について

費用削減に向け、以下の施策を来年度より実施する（既にアレンジ済の研究会、ワークショップは除く）。

- ・研究会1回あたりの費用（講師謝礼、交通費、会場費）を20万円以内とする。
講師は1研究会あたり3名を基本とする。
- ・開催案内、予稿集の紙ベースでの作成と郵送配布は中止し、パスワードを設定したPDFによる配布とする。ただし、予稿原稿の配布については、事前に講演者の了解を得ることとする。
- ・収入増を図るため、WEBによる研究会参加（有料）を認める方向で検討を開始する（価格等、詳細については今後の議論）。

5.WS19開催案

テーマ案1.2.4で検討